

オンライン <ドイツ文化史、宗教史、ドイツ政治史>

ハイデルベルグにおける宗教改革

The Reformation in Heidelberg Online

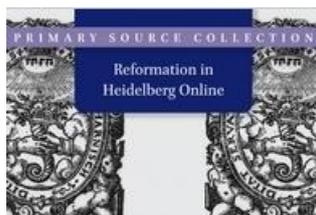


監修: Richard A. Muller

編集: Charles Gunnoe

言語: 主にラテン語、ドイツ語 に加え、英語、オランダ語、フランス語

収録タイトル数: 200



オンライン版:完全買切型 (次年度以降の追加費用は発生しません) 同時アクセス数無制限

価格はお問い合わせください

本コレクションは、16世紀におけるハイデルベルクの宗教改革の発展の軌跡を辿るもので、プファルツ選帝侯家最後の王オットハインリヒの時代(1556-1576)から、プファルツ・ジンメルン家(Pfalz-Simmern)のフリードリッヒ3世(1559-1576)の時代までの知識人や宗教的発展を検証するために収集された貴重書コレクションです。

このコレクションの第一の目的は、主要なハイデルベルクの人物(Bouquin, Erastus, Olevianus, Ursinus, Zanchiなど)の全集を集成することと、それに次ぐ人物達の主要な著作を網羅することにあります。もちろん大きな影響を与えたBeze, Calvin, Dudith, Melancthonなどの翻訳版を含み、ハイデルベルクの教義問答集の受容と源泉であるプファルツ地方の発展の軌跡を辿ることも目的とされています。科学的・哲学的関連資料も幅広く収集し、ハイデルベルクにおける宗教改革の軌跡を明確にするものです。このために、ドイツだけでなくスイス、ネーデルランド、英国などの各重要な図書館から収集されたことで、Pierre BoquinやZacharias Ursinusなどの神学者だけでなく、Thomas ErastusやJohannes Langeなどの医学者ユマニストたちの作品も入手することができました。

また、次のような資料も収録されています。*Ludwig Mieg et al. - Monumenta pietatis et literaria*はこの時代の書簡を含む初期の歴史的資料であり、*Alting - Historia ecclessi Palatinae*はこの地方の初期の宗教改革の歴史を物語るものです。また、Kluckhornのフリードリッヒ3世の書簡コレクションはこの地域の政治に関わる重要な資料で、*Heinrich Heppe - Die confessionelle Entwicklung der altprotestantischen Kirche Deutschlands*は当時影響力をもっていたこの学者の著書でもあります。

ドイツ宗教改革のなかで中心的役割を果たしたハイデルベルクの改革を跡付けるこの貴重書コレクションは、研究への新たな地平を見出させるものと言えるでしょう。

(De Gruyter Brill (Brill), NLD Primary Source / 丸善雄松堂)

○消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。

○原価の改訂、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。

○お見積りは、別途ご用意ください。

ご契約の際は、所属機関のIPアドレスが必要となります。FTEは問いません。同時ユーザー数は無制限です。

G.C.19163

裏面もご覧ください →

